

# 一層の飛躍を



新潟県 県民広報課長 山田善弘さん

「広報くろさき」の三〇〇号を心からお祝い申し上げます。  
また、このたびは、昭和六十二年全国広報コンクールにおいて、「特選」という輝かしい金字塔をうちたてられました。まことに御同慶の至りでございます。  
最近の市町村広報紙は、安定経済の定着や高齢化社会の到来など社会環境の変化を受けて、お知らせや結果報告といった内容のものから、徐々に、住民参加を盛り込んで親近感のあるものに変わってきました。私は、さらに、これからの広報紙は、住

民の方々の連帯意識の醸成と高揚に欠かせない役割を担っていると思っております。広報紙の重要性は、ますます高まっています。この住民の連帯感を深める方法の一つに、行政側と住民サイドの意見や要望についてのキャッチボールが考えられます。具体的には、ある問題点について、まず、総論的なところから住民の意識調査を行い、その調査結果をふまえて次回の調査項目を作り、それをアンケート調査します。広報紙にはその分析結果を載せ、これを繰り返しながら問題点や解決策を絞りこむ方法です。  
広報紙づくりが総務部門だけでなく、企画開発部門との共同作業ということで、行政施策に反映できるのではないのでしょうか。他の広報紙より一歩進んだ考えを持っておられる広報くろさきの一層の飛躍を期待しております。

## 広報の目的は?

正しく明るい町に、民主主義の世の中にするために発行しています。そのためには情報何より大切で、正しい情報が正しい判断につながります。

表紙のとおり広報は「あなたと町をつなぐ」パイプ役です。町の施策を町民に伝えるとともに町民の声を町に届けることが基本です。そして、広報に載る記事や資料、写真、町民の声など、よりよい黒埼町にするための情報を提供していきたいと考えています。

## 広報の予算は?

六十三年度の当初予算は、印刷費が五百六十八万七千円、写真費が約五十万円、だれかに書いていただいた場合の原稿料が三万円、町民の協力を得る広報リポーター費に三万五千元、カメラ購入費に十三万円、出張や研修会などの旅費に約十万円、日本広報協会

# 作り方

うか、と思ったことはありませんか。いろいろな疑問にお答えします。(回答:企画開発課)

## だれが作ってるの

広報の編集は企画開発課の広報統計係で行われています。古川義治課長、宮野滝夫係長のもと、五十嵐政人主事と岩野満夫主事が作っています。企画、取材、写真、編集、レイアウト、校正、発送までやっています。取材のときはよろしく願います。編集室



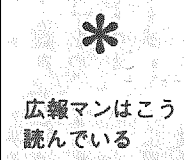
岩野主事 (27) 五十嵐主事 (30) 町で見かけたら声をかけてください

負担金九千円、新潟県広報協議会負担金四千円となっております。また、広報の場合、国や県からの補助金はありません。広報はその自治体が自主的に発行するものだからです。

## 載せられないものは

広報の発行に関する特別な法律や条例、規則のようなものはありません。基本的には日本国憲法、地方自治法にのっとって編集しています。載せないことにしているものは次のようなものです。  
①特定の個人や団体の利益につながるもの ②売名や宣伝になるもの ③他人の名誉や

## 広報くろさきの読み方



最近のはマンネリだと思っ。月2回B5版で出していたころが、若気の至り(失礼)みたいなのが、それがひとりよがりになっていないのがすばらしい。やはり「町を思う心」が底にあるからだと思う。最近のはおもしろくない。少々退屈しているのではないかと。広報くろさきのすべてがよいとは思われないが、行政広報紙の一つの到達点だと思っ。▼わが市の市民に比べて、広報くろさきが読める黒埼町の町民は幸せだと思っ。▼最後の「人」の記事がいい。泣けるくらいある。▼広報は基本的に行政を肯定しなければいけないが、ウソや飾りは絶対に書かないという編集姿勢を感じます。▼最近世紀末の様相を呈しているおもしろい。この先どうなるのだろうか。

効果的だ。▼住民の支持があつて初めてできる広報だと思っ。▼編集者の見識や思想が出ていないのがすばらしい。やはり「町を思う心」が底にあるからだと思う。最近のはおもしろくない。少々退屈しているのではないかと。広報くろさきのすべてがよいとは思われないが、行政広報紙の一つの到達点だと思っ。▼わが市の市民に比べて、広報くろさきが読める黒埼町の町民は幸せだと思っ。▼最後の「人」の記事がいい。泣けるくらいある。▼広報は基本的に行政を肯定しなければいけないが、ウソや飾りは絶対に書かないという編集姿勢を感じます。▼最近世紀末の様相を呈しているおもしろい。この先どうなるのだろうか。

# 広報の

毎月上旬に役場から広報が届くけれど、どうやってだれが何のために出しているのだから

## 投稿はあるの??

投稿はあります。一月から七月までに三十一通届いていますが、短歌や俳句が多いのですが、町への意見や要望も月に一、二通来ます。投稿は必ず掲載するようにしています。スペースの関係で文を短くしたり、俳句などは一首にさせていたたりしています。「街かど」が始まったのは昭和五十六年六月十五日号(一八六号)からですが、数百通の投稿はすべて保管しています。現在まで掲載しなかったものはたった一つだけです。それは、昨年の町議会議員逮捕に際して「議員の町長派と反町長派を掲載してほしい」

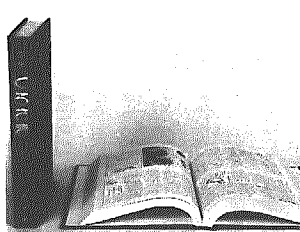
という内容でした。それ以外には、例えば「学校給食の民間委託反対」とか「新潟市との合併を望む」、「町政しつかりしろ」など町に耳のいたいことも掲載しています。なお、投稿には必ず氏名と住所、電話番号をお書きください。匿名希望は広報に名前を出しませんので、ご安心して投稿してください。

## 古い広報が読みたい

縮刷版があります。昭和十二年の公民館報創刊号から五十四年三月発行の広報までを一冊にしています。一冊二千九百円で残部がわずかです。企画開発課までご連絡を。

## 情報の

情報化社会といわれるなか大量の情報が溢れています。しかし、どれだけ情報が多くなっても世の中すべての情報を知らせたりすることはできません。広報くろさきを百ページにしても「前より多くなつた」だけですべてではありません。広報だけでなく新聞もテレビもミニコミ紙もそう



昭和58年発行の広報縮刷版。A4版475ページで限定650部の発行。

あなたの故郷がありませんか  
各地の広報紙  
役場企画開発課には下記のよう  
に各地の市町村の広報紙や要覧な  
どがあります。ご覧になりたくた  
方は広報係まで。☎37713101  
※新潟県内のもので大半あります。

- 〈北海道〉千歳市、厚真町、端野町 〈青森県〉鶴田町
- 〈岩手県〉盛岡市、水沢市、遠野市、一戸町、雫石町、松尾村
- 〈宮城県〉古川市、大河原町、中新田町、矢本町、桃生町
- 〈福島県〉船引町
- 〈秋田県〉湯沢市、若美町、天王町、八郎潟町、河辺町、協和町、雄和町、大森町、山本町、比内町
- 〈山形県〉山形市、上市市、天童市
- 〈茨城県〉鉾田町、八郷町、莒崎町、麻生町、旭村、大野村、北浦村
- 〈栃木県〉宇部宮市
- 〈群馬県〉館林市、沼田市、桐生市、月夜野町、伊香保町、大間々町、尾島町、境町、新田町、藪塚本町、昭和村、子持村、棒東村、笠懸村、利根村、明和村、東村
- 〈埼玉県〉熊谷市、狭山市、蓮田市、蕨市、加須市、東松山市、坂戸市、八潮市、春日部市、三郷市、寄井町、日高町、毛呂山町、吉田町、三芳町、花園町、川本町、岡部町、妻沼町、上里町、児玉町、小鹿野町、皆野町、川島町、都幾川村、大里村、神川村、東秩父村、荒川村、両神村、横瀬村、神泉村
- 〈東京都〉練馬区、三鷹市、調布市
- 〈神奈川県〉横浜市、横須賀市、逗子市
- 〈長野県〉更埴市、東部町、軽井沢町
- 〈富山県〉氷見市、朝日町、入善町
- 〈福井県〉武生市、小浜市、三方町
- 〈静岡県〉静岡市、土肥町、水窪町、修善寺町
- 〈愛知県〉岡崎市、蒲都市、西尾市、幡豆町
- 〈岐阜県〉各務原市、川島町、揖斐川町、大和町、大呂町
- 〈三重県〉四日市市、久居市、菰野町、紀宝町、宮川村
- 〈滋賀県〉虎姫町、愛東町
- 〈京都府〉和知町、園部町
- 〈大阪府〉寝屋川市、大阪狭山市、千早赤坂村
- 〈奈良県〉河合町
- 〈兵庫県〉加古川市、太子町、朝来町、津名町、城崎町、八鹿町、村岡町、家島町
- 〈岡山県〉久世町
- 〈鳥取県〉日南町、日野町、溝口町、三朝町、泊村
- 〈広島県〉府中町、海田町、瀬戸田町
- 〈山口県〉徳山市、岩国市
- 〈香川県〉山本町、長尾町
- 〈愛媛県〉内子町
- 〈徳島県〉上勝町、脇町、穴吹町
- 〈福岡県〉宗像市、芦屋町、玄海町、福岡町、古賀町、荻田町、城島町、新宮町
- 〈佐賀県〉伊万里市、白石町
- 〈長崎県〉長崎市、愛野町
- 〈熊本県〉水俣市、飽田町、天明町、竜ヶ岳町、河浦町、富合町、峯北町、御船町、姫戸町
- 〈大分県〉大山町、湯布院町、緒方町、挾間町
- 〈鹿児島県〉鹿児島市、中種子町、吹上町